

中城村教育委員会における教職員の働き方改革に関する取り組み

教職員の多忙化を解消し、健康保持に努めるとともに、教師の学ぶ時間を確保し、子ども一人一人の学びを最大限に引き出す教師の育成のため、中城村教育委員会及び各小中学校では、下記の取り組みを行っております。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

学校の働き方改革に係る取組状況

- (1) 人的支援による教職員の負担軽減
教員業務支援員、教育相談員、心理相談員、英語指導助手、ICT支援員、学習支援員、学校事務員等
- (2) 校務支援システムの導入活用及びICT機器の活用
校務支援システムを整備し児童生徒の出席状況や指導要録の作成、通知表や入試の際の帳簿作成等の電子化を行っています。また、自動採点ソフトを活用し、テスト採点等の教職員の業務負担軽減の取り組みを実施しております。
- (3) 出退勤システムの導入活用
勤務時間の客観的な把握による残業時間の削減、業務改善に努めています。
- (4) 定時退勤の促進
保護者や地域の方々の理解と協力の下、時間外の留守番電話の活用、週1回のノー残業デーを推奨しています。
- (5) 教職員が休みを取得しやすい環境設定
夏季休業中の学校閉庁日とリフレッシュウィークの設定、学校行事の精選、週時程の工夫などの取り組みを実施しています。

- (6) 産業医の配置・ストレスチェックの実施
職員50名以上の学校に産業医を選任し、村立小中学校への巡回訪問と、全職員を対象にストレスチェックを実施し、労働安全衛生管理体制の整備を行っております。
- (7) 部活動の在り方の見直し
「中城村部活動の在り方に関する方針（改訂版）」を策定し、適切な活動時間・休養日を設定しています。また、村部活動指導員の充実を進めております。
- (8) コミュニティ・スクールの導入及び活用
学校・保護者・地域との連携、協働して地域全体で児童生徒を育む学校づくりを目指しています。
- (9) 年度末の事務処理と年度始めの事務処理時間の確保
新年度に向けての児童生徒の受け入れ準備を円滑に行うことを目的に学年末休業日と学年始休業日の期間の確保に努めております。